

※各項目に○印を記入し、事前打ち合わせ等で確認できるように準備してください。

大会名・事業名等：		開催：令和 年 月 日（ ）～ 月 日（ ）	
記載責任者：		勤務先等：	電話：
1 参加者への 確認事項・ 依頼事項	(1) 参加者を募集・受付するにあたり、主催者は以下のことを確認する（募集要項や申込書等への記載をし、同意を得る形をとる）。参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求める。		
	①	体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）	
	②	同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合	
	③	過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合	
	(2) 参加者を募集・受付するにあたり、主催者は以下のことを依頼する（募集要項や申込書への記載をし、周知する）。		
	①	マスクを持参する（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用する）。	
	②	こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する（マイタオルを持参する）。	
2 当日の 参加 受付時 の 対応	③	他者との距離（2 m以上）を確保する。	
	④	イベント中に大きな声で会話、応援等をしない。	
	⑤	感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従う。	
	⑥	イベント終了後2週間以内に感染症発症の場合、主催者に速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。	
	⑦	武道館の開館時刻や受付開始時刻を募集要項に明記し、役員、スタッフ、監督・選手、観客等の混雑を避けるよう徹底すること。	
	①	受付窓口（館外設置が基本）には、手指消毒剤を設置する。	
	②	発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は参加しないように呼び掛ける（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することも考えられる）。	
	③	参加者が距離を置いて並べるように目印の設置等を行う。	
	④	受付を行うスタッフには、マスクを着用させる。	
	⑤	当日の受付を簡素化できるような配慮を行い、混雑を極力避ける。	
	⑥	参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求める。（1か月間保存）	
		ア 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号） ※個人情報の取扱いに十分注意する。	
		イ 利用当日の体温	
		ウ 利用前2週間における以下の事項の有無	
	・ 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）		
	・ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状		
	・ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）		
	・ 嗅覚や味覚の異常		
	・ 体が重く感じる、疲れやすい等		
	・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無		
	・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる		
	・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある		

3 参 加 者 対 応	①	マスク等の準備	
		ア マスク等の準備：参加者がマスクを準備しているか確認する。	
		イ 参加の受付、着替え、表彰式等の運動・スポーツを行っていない間については、マスクの着用を求める（運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断による）。	
	②	大会等参加前後の留意事項	
	ア 大会の前後のミーティング等においても、三つの密を避ける。		
	イ 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮する。		
4 主 催 者 が 準 備 ・ 配 慮 す べ き 事 項	①	全国競技団体から発出されている再開に向けての指針等	
		ア 再開に向けての指針等を遵守した開催となっているか確認する。	
	②	スポーツ用具の管理	
		ア 共用するスポーツ用具については、使用前後に消毒する。	
		イ スポーツ用具の貸出を行う場合は、貸出を行った利用者を特定できる工夫をする。	
	③	飲食物の提供時	
		ア 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛ける。	
		イ 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させる。	
	④	観客の管理	
		ア 観客も参加させる場合には、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとる。（大道場観客席500席に制限・立ち見不可・早朝からの席取禁	
		イ 大声での声援を送らないことや、会場内では基本的にマスクを着用する等の留意事項を周知する。	
	⑤	イベント会場	
		ア イベントを室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行う。	
		イ 換気設備を適切に運転する。	
		ウ 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行う。	
	⑥	ゴミの廃棄	
	ア 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用する。		
	イ マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒する。		
⑦	拾得物の廃棄		
	ア 事務室では、タオルやTシャツなどの身体との接触が濃厚と判断されるものは保管しない。忘れ物が無いように注意を喚起する。		
⑧	定期の巡回・確認		
	ア 配慮すべき各事項がきちんと遵守されているか定期的に巡回・確認する。		